

自宅療養、配送料を負担 多治見市が買い物支援スタート



自宅療養者らのために始めた新事業「カムカムデリバリーGO」のリーフレット＝多治見市役所

た。総事業費は約170万円、新型コロナウイルスの緊急経済対策費を充てる。約3100件分の予算を確保しているが、上限に達し次第事業は終了とする。市産業観光課の久田伸子課長代理は「好きな物を好きな時に買えることで少しでもストレスを減らし、おうち時間を豊かなものにしてほしい」と話す。事業への問い合わせは市産業観光課、電話0572(22)1252。

また市企画防災課は、今のところ利用者はいないものの、相談を受けた自宅療養者の元に2日分程度の食料と日用品を直接届ける取り組みも実施している。

地元スーパー商品 ネット注文に対応

利用できるデリバリーサービスは、トイカイ薬局が運営する「タジミング」とバローホールディングスの「ainoma(アインマ)」。それぞれオオマツフードやバローが扱う商品

を購入することができる。通常だと配送料が400、500円程度かかるが、それを市が負担する。配送料が無料となるのは、多治見市内の自宅療養者や外出自粛が求められる

新型コロナウイルスの感染による自宅療養者やその家族の生活を支援しようと、多治見市は1日、買い物支援事業「カムカムデリバリーGO」を始めた。地元スーパーの商品などをネット注文できる二つのデリバリーサービスについて、その配送料を市が負担する。

(織部俊太郎)